

# 第5回八代海域調査委員会議事要旨

---

## 【1】開催日時

平成13年12月3日(月) 10:00～12:00

## 【2】開催場所

KKRホテル熊本(2F 城彩の間)

## 【3】出席委員(敬称略)

委員長 弘田禮一郎 熊本大学名誉教授

委員

(学識経験者)

大本 照憲	熊本大学工学部助教授
門脇 秀策	鹿児島大学水産学部教授
楠田 哲也	九州大学大学院工学研究院教授
滝川 清	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター教授
堤 裕昭	熊本県立大学環境共生学部教授
逸見 泰久	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター講師

(敬称略 50 音順)

(漁業者代表)

井手 正徳	熊本県漁業協同組合連合会代表理事会長
(代理)吉岡博秋	総務部長
沖崎 義明	熊本県漁業協同組合連合会第六部会長
福田 諭	熊本県漁業協同組合連合会第四部会長
松本 忠明	熊本県漁業協同組合連合会第五部会長
宮本 勝	熊本県漁業協同組合連合会第三部会長
森枝 哲男	鹿児島県東町漁業協同組合代表理事組合長
(代理)波戸親志	営漁指導課長

(敬称略 50 音順)

(行政関係者)

森田 安雄 水産庁九州漁業調整事務所振興課長  
工藤 啓 国土交通省九州地方整備局河川部河川調査官  
飯牟禮 信幸 国土交通省九州地方整備局港湾空港部海域環境・海岸課長  
(代理)今林章二 課長補佐  
久保 一昭 海上保安庁第十管区海上保安本部水路部水路課長  
本山 茂夫 気象庁長崎海洋气象台業務課長  
中島 一見 国土交通省八代工事事務所長  
今永 繁 国土交通省熊本港湾空港工事事務所長  
矢澤 吉邦 熊本県環境生活部環境保全課長  
望月 一範 熊本県企画開発部地域政策課長  
(代理)松永康生 政策審議員  
上田 史朗 熊本県土木部河川課長  
(代理)那須正秀 主幹  
板崎 清 熊本県林務水産部水産振興課長  
(代理)岩下徹 水産審議員  
伊勢田 弘志 熊本県水産研究センター所長  
前田 和宏 鹿児島県水産試験場長

(敬称略順不同)

#### 【4】配付資料

議事次第

資料－1 出席者一覧

資料－2 配席表

資料－3 第4回八代海域調査委員会議事要旨

資料－4 第5回八代海域調査委員会資料

熊本県有明海・八代海再生に向けた総合計画(仮称)(案)

八代海調査委員会への要望書

回答(案)

## 【5】議事次第

1. 開会
2. 議事
  - (1)今後の委員会の調査方針について
  - (2)既設ダムの影響について
  - (3)八代海域の保全対策について
    - ① 熊本県有明海・八代海再生に向けた総合計画(案)について
    - ② 海域環境の保全に対する目標設定検討について
3. 閉会

## 【6】議事要旨

1. 八代海調査委員会への要望書(八代漁協からの要望書)に対する回答(案)について

(議論の結果)

「調査・検討項目」の回答(案)については、事務局にて再度検討する。  
委員の追加交代については、学識経験者委員の追加は考えていないが、漁業者委員の交代については、漁業者の中で調整する。

(議論の要旨)

- 当委員会での専門的な話について理解できず、末端の組合員まで説明できない。漁業者が推薦する有識者についても委員に加えてほしい。  
また、「調査・検討項目」の回答(案)については、もっと具体的に回答してほしい。
- 全ての調査が終わっていない段階で具体的には回答できないし、また、すべきではないと思う。これからも説明会等開く予定なので、その時に質問すればよいのでは？
- 川辺川ダム建設に伴う窒素、リンの変化についての検討はされたが、生態系に与える影響についての検討がなかった。
- 「調査・検討項目」の回答(案)については、再度、事務局にて検討する。
- 漁業者代表委員として委員会に参加し、理解出来ないなりに各漁協へ報告はしてきたが、球磨川に関係が深い八代漁協からの要望であるので、委員の追加をお願いしたい。
- 今まで2回説明会が開催されたが、なかなか理解できない面もある。また、シ

ミュレーション 結果についても川のミネラル等について検討されていないので、全てを了解したわけではない。学識経験者委員は、皆さん素晴らしい方で十分なメンバーだとは思いますが、もう1名加えていただければ、より開かれた委員会になると思う。

- 学識経験者委員については、あらかじめ漁業者の代表、熊本県及び鹿児島県と十分に相談した上で 選出したものであり、九州管内の海域や河川環境工学等を専門にされ、八代海の事情にも非常に精通 している。これまでの委員会においても十分客観的なご審議をしていただいております、現段階では新たな 委員を追加する必要性は感じていない。
- 漁業者委員の交代については、漁業者の中で話し合ってもらいたい。

## 2. 今後の委員会の調査方針について

(議論の結果)

漁業者委員より生態系についての影響調査を充実してほしいとの要望があったが、科学的知見から、現時点では川辺川ダムの影響は「水質面で評価する限り、現状とほぼ 変わらないことから、影響は無視し得る程度のものと見てとれる」との評価である。

シミュレーションの範囲について、漁業者の心配を解消するよう各委員とも相談 しながら検討していく。

また、「保全対策の方向性」と「海域環境の保全に向けた監視項目」の今後の方針 (案)については、了解された。

(議論の要旨)

- 既設ダムの影響については、県の企業局と電源開発㈱に国土交通省の調査結果 も含めて説明していただきたい。既にそういう時期に来ていると思う。
- ダム建設による水質変化の予想結果が、我々の予想しているものとかけ離れた 結果となっている。窒素、リンだけでなく生物にとって必要なミネラル等についても調査してほしい。
- これまでの委員会で、ケイ酸塩については調査して報告している。他の項目についても必要であれば調査する。

### 3. 既設ダムの影響について

#### (議論の結果)

既設ダムで淡水赤潮が発生していることから、ダム湖の水質悪化を懸念する意見が出された。川のリネラル等の意見要望等について、事務局にてとりまとめ、学識経験者の意見を聞きながら、ダム管理者と調整しつつ調査計画を策定する。

#### (議論の要旨)

- 荒瀬ダムサイト付近のTOCは20mg/g乾泥を超え、高い値となっている。養殖場でヘドロが溜まって汚くなっている場所でも30mg/g乾泥程度であるから、ダムサイト付近にゴミ(有機物)等が溜まっている証拠である。  
また、淡水区間で硫化物を指標とするのは適当でない。
- 淡水区間で硫化物が高い値を示すのは、生活雑排水からタンパク質等が溶けだしている可能性がある。
- 球磨川河口干潟への影響については、既設ダム堆積量を単純計算して干潟層厚に変化すると、グラフに示す計算結果になるとの意味か？
- 荒瀬ダム、瀬戸石ダムで赤潮が発生しているが、これを海に流した場合、悪影響があるのではないか？
- 個人的な意見だが、淡水赤潮が海で再度発生することはないが、淡水域のプランクトンが有機物として海に流れ着き、それが栄養塩として分解され、それが海のプランクトンの餌となった場合の赤潮発生の可能性までは否定できない。
- 粒度組成については、柱状グラフでは量的に把握できないので、粒度分布で表現した方がよい。出水前後の湖底の状況についてだが、測量等を実施して正確なデータを収集する必要がある。
- 浮泥については別途調査してほしい。
- ダムに溜まった水と自然水との変化について、ミネラルに着目し、調査してほしい。
- ミネラルがどの生物にどのように影響しているかはよくわかっていないのだが、確かにミネラルはダム湖に沈むと思う。だが、消滅するわけではない。また、それが一度に外に流出した場合、どのような影響を及ぼすのかよくわからない。
- 人吉市周辺からの流出負荷は、ダムがあるから溜まっているが、ダムが無ければそのまま川をダラダラ流れていくことになるので、その点のプラス・マイナスの議論はあると思う

- 河川の浄化能力を評価する必要がある。
- ダムの底に溜まっている物が、出水時に一度に出ていくのが問題だと思っている。
- ダム管理者と調整しつつ、学識経験者委員の御指導を仰ぎながら調査計画を策定したいと思う。
- 川辺川ダムについては水質保全対策を実施し、富栄養化が生じないとの報告を受けているが、その根拠について再度説明して欲しい。
- 既に川辺川工事事務所のインターネット等にて公表されている、川辺川ダム貯水池 水質のポーレンバイダー結果により、富栄養化しない貯水池水質であることを説明。
- 天然の水が溜まることが生態系に影響を及ぼすものかどうかの調査を実施してほしい。
- 科学的知見から、現時点では川辺川ダムの影響は「水質面で評価する限り、現状と ほぼ変わらないことから、影響は無視し得る程度のもものと見てとれる」との評価である。シミュレーションの範囲について、漁業者の心配を解消するよう各委員とも相談していきたい。
- 流達率の図については、横石地点までしか記載されていないが、下流には八代市がありそこからの流出負荷もある。最終的に八代海域にどれだけの負荷が流入しているかが問題である。また、藻場造成の際に役立つ鉄分についてどうなっているのか？海域へ注いでいるフルボ酸鉄 などについても調査して欲しい。
- 川辺川ダムに水を貯めた場合、どれくらい汚れるのか教えてほしい。
- 下流既設ダムは上流の市街地から流下する栄養塩類により富栄養化する。しかし、川辺川ダムの位置は上流域であり栄養源が落葉程度であることから富栄養化するとは思えない。ゴミが無ければ汚れないはずである。

#### 4. 八代海域の保全対策について

##### (議論の結果)

- ① 熊本県有明海・八代海再生に向けた総合計画(案)については、12月中に熊本県にてとりまとめるとのことなので、各自意見があれば提出する。
- ② 海域環境の保全に対する目標設定検討については、時間の都合により、次回委員会にて審議していただくことで了解された。

##### (議論の要旨)

- ①熊本県有明海・八代海再生に向けた総合計画(案)について
  - ・河川水質管理についても記載すべきではないのか？
  - ・底質の有害物質、例えば環境ホルモンのTBT等、場所によっては 基準の50倍もの値が検出されたケースもある。これらのことについても配慮すべきではないか？
  - ・河川水質については、これまで同様、国土交通省と連携して監視していきたい。
  - ・底質の有害物質については、色んな先生方の御意見を伺いながら、今後検討していきたい。
- ②海域環境の保全に対する目標設定検討について
  - ・検討内容の概略のみ事務局側から説明。

#### 5. その他

- ・ 次回の委員会は、平成13年度内に開催を予定する。
- ・ 今回の質疑応答の内容は、発言者を特定しない形で議事要旨としてまとめたものを委員長が確認したうえでホームページにて公表する。